

奈弓連だより

通巻 280号

令和7年6月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 阪中計夫
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先: henshu@narakyudo.jp

第15回全日本弓道選手権大会奈良県予選会

最高得点賞 男子 吉本清巳選手(布目)

女子 林秀子選手(檀原)

5月25日(日)に檀原公苑弓道場において、奈良県予選会が行われました。成年男子の部14名、成年女子の部15名が参加しました。

競技結果および選考結果は以下の通りです。

最高得点

成年男子 吉本 清巳 教士七段(布目)

成年女子 林 秀子 錬士六段(檀原)

成年男子

第1位 吉本 清巳 教士七段(布目)

第2位 前角 博 教士七段(錬弓会)

第3位 土谷 尚敬 教士六段(香芝)



吉本選手、前角選手、土谷選手

成年女子

第1位 原田 温美 錬士六段(檀原)

第2位 越智 和子 錬士五段(奈良)

第3位 仲倉 牧子 五段(檀原)



林選手、原田選手、越智選手、仲倉選手

全日本弓道選手権大会近畿予選会出場選手

成年男子

吉本 清巳(教士七段) 藤岡 順(教士七段)

藤本 聡郎(錬士六段) 乾 光孝(錬士五段)

原田 祐介(錬士五段)

予備選手: 前角 博(教士七段)



後列 藤本、乾、原田 各選手

前列 吉本、藤岡 各選手

成年女子

林 秀子(錬士六段) 松澤 和実(錬士六段)

八木 純子(錬士五段) 東中 千佳(錬士六段)

原田 温美(錬士六段)

予備選手: 長濱 有美(錬士六段)



後列 原田、八木、林 各選手

前列 東中、松澤 各選手

奈良県代表選手は、7月21日(日)に京都武道センターで開催される近畿予選会(本戦出場枠は男女各6名)に参加します。(競技部 衛藤 博史)

全日本弓道遠的選手権大会 県予選会

万葉の丘にて開催 男女各2名が選出されました

6月1日(日)に万葉の丘スポーツ広場アーチェリー・弓道遠的場において、全日本弓道遠的選手権大会 県予選会が実施されました。橿原公苑体育館の建て替えに伴い、公苑庭球場遠的射場が使用できないことで、県連としては初の試みとして、今回の会場での開催となりました。天候が危ぶまれましたが、最後まで雨に降られることなく、男子20名、女子23名が四ツ矢三回を引き終えることが出来ました。選考結果は以下の通りです。

全日本弓道遠的選手権 出場選手

成年男子

前角 博 教士七段 (錬弓会)
山口 亮二 五段 (生駒)

成年女子

白井 礼子 教士六段 (錬弓会)
揚田 よう子 錬士六段 (奈良)

予備選手

中川 亨 錬士五段 (奈良)
林 秀子 錬士六段 (橿原)



中川選手、前角選手、山口選手



林選手、揚田選手、白井選手
(競技部 原田 温美)

令和7年度全国高等学校総合体育大会

第70回全国高等学校弓道大会

第78回近畿高等学校弓道大会県予選

団体1位 女子は桜井高校、男子は畝傍高校

個人一次予選

5月31日(土) 女子、6月1日(日) 男子
8射5中以上で予選通過。

個人・団体二次予選(決勝)

6月8日(日) 橿原公苑弓道場

個人戦は、先週の予選通過者、女子24名、男子34名により、準決勝(4射3中以上で通過)を行いました。女子の準決勝通過者は7名であったので女子の8位~10位は2中の者から決定しました。

個人戦入賞者

女子個人

- 1位 狩野 結愛 (桜井)
- 2位 村山 希実 (橿原)
- 3位 関本 恋奈 (郡山)
- 4位 雑賀 心紗希 (桜井)
- 5位 萩原 紗良(法隆寺国際)
- 6位 上村 遙 (桜井)
- 7位 草刈 まい (橿原)
- 8位 藤本 詠深 (桜井)
- 9位 村井 唯夏 (郡山)
- 10位 竹内 杏 (畝傍)

男子個人

- 丹喜 仁一朗 (畝傍)
- 岩井 欄丸 (畝傍)
- 山口 泰世 (桜井)
- 木村 蓮 (桜井)
- 小谷 海 (国際)
- 早瀬 日陽 (県大附属)
- 田中 暖樹 (橿原)
- 吉本 和真 (郡山)
- 佐々岡 隼杜 (畝傍)
- 奥野 幹 (奈良)



個人入賞者 前列左から1位~5位、
後列左から6位~10位

団体戦は、5月4日の予選通過校6校により総当たりのリーグ戦を行いました。5人立各自4射(20射)により、5試合(100射)を行い、順位を決定しました。

女子団体

1位 桜井 5勝0敗77中

岡本 ひなた・雑賀 心紗希・松長 凜
藤田 美桜・狩野 結愛・上村 遙

2位 法隆寺国際 3勝2敗55中

萩原 紗良・川元 幸来・北村 花菜
西岡 雨美・太田 明里・芝崎 愛

3位 郡山 3勝2敗54中

関本 恋奈・清水 晶帆・界久保 椎菜
神田 柚衣・村井 唯夏・松村 結



女子団体入賞校 前列1位 後列左2位 右3位

男子団体

1位 畷傍 4勝1敗74中

佐々岡 隼杜・森川 琥太良・丹喜 仁一朗
森 陸斗・岩井 欄丸・野上 航弥

2位 桜井 3勝2敗71中

豊内 陸・中島 拓海・今中 悠聖
井上 修助・藤田 悟瑠・曾我部 喜助

3位 高田商業 3勝2敗61中

吉村 琉生・植木 愛翔・横谷 日陽輝
辻本 絢慎・岡田 晴登・森 琉斗



男子団体入賞校 前列1位 後列左2位 右3位

<7月・各地での大会紹介>

6月28・29日 全国大学弓道選抜大会(中央)

7月1日 県民スポーツ大会(奈良市)

今年はロート奈良弓道場および多目的広場にて

7月16・17日

近畿高等学校弓道大会(和歌山県田辺市)

7月19・20日 奈良県中学総合体育大会(橿原)

7月21日 全日本少年少女武道錬成大会(武道館)

7月21日 全日本弓道選手権 近畿予選会(京都)

7月27日 近畿中学生弓道大会(大阪城)

応援よろしくお祈りします!

個人1位2位、団体1位は、7月31日～8月3日に鳥取県米子市で行われる、第70回全国高等学校弓道大会に出場します。

男女とも個人10位まで、団体は3位までは、7月16日17日に和歌山県田辺市で行われる、第78回近畿高等学校弓道大会に出場します。

(高体連 布施 慈人)

第71回全日本勤労者弓道選手権大会

教職員チーム惜しくも決勝トーナメント進出ならず

5月30日(金)から6月1日(日)にかけて、青森県弘前市の青森県武道館において標記の大会が開催され、奈良県からシャープと教職員の2チームが出場しました。

この大会は、1次予選は7中通過、2次予選は上位16チームが通過、通過チームにより決勝トーナメント、という日程で競技が行われます。1次予選の結果は教職員が7中で通過、シャープが6中で予選敗退でした。2次予選は、教職員が7中とあと1中で決勝トーナメント進出の競射という結果でした。

2日目も弓を引けたという喜びと、あと1中で決勝トーナメントに進めたかもしれないという悔しさが入り混じった大会となりました。



(教職員 中西 省五)

国民スポーツ大会 奈良県代表の最終選考会

少年の部・成年の部の男女各選手が決定

6月15日(日)に橿原公苑弓道場において標題の選考会が開催されました。遠の場が使用できないため、近の12射のみで実施されました。

選考の結果、成年の部は、男女ともに選手3名および補欠2名が下記の通り選ばれました。少年の部は男女ともに各5名が選ばれました。

ブロック大会通過および本大会入賞に向け頑張っていきます。今年は奈良県でブロック大会が開催されます。皆様の応援よろしくお祈りいたします。

<成年の部>

成年男子

選手：西田 友樹(橿原)、盛山 智貴(橿原)、
今西 達也(五條)

補欠：田中 克也(郡山)、瀬戸 雅弘(生駒)



田中、西田、盛山、今西、瀬戸 各選手

成年女子

選手：和田 麻利(橿原)、植島 直子(橿原)、
藤森 康恵(奈良)

補欠：阪本 真奈美(五條)、
長谷川 凜花(奈良教育大学)



和田、植島、藤森、長谷川、阪本 各選手
(強化部 長濱 正伸)

※ 国民スポーツ大会近畿ブロック大会は
8/16(土)~17(日) 橿原公苑弓道場にて開催。
9/28(日)~10/1(水)に滋賀県のプロシードアリーナ HIKONE において本大会が開催されます。

<少年の部>

少年男子

佐々岡 隼杜(畝傍) 岩井 欄丸(畝傍)
豊内 陸(桜井) 植木 愛翔(高田商業)
岡田 晴登(高田商業)

少年女子

関本 恋奈(郡山) 村井 唯夏(郡山)
雑賀 心紗希(桜井) 村山 希実(橿原)
太田 明里(法隆寺国際)



少年の部 男女選手の皆さん
(高体連 布施 慈人)

奈良市弓道協会 総会射会

深田新会長とともに新たな始まり

6月8日(日)、100名を超える参加者のもと盛大に行われました。新司会長の矢渡し後、各自四ツ矢立射2回と審査の間合い(合計10射)で行射し、1~3位と開催日にちなみ6位と8位にメロンやキウイ、スイカなど賞品が渡されました。

総会では役員交代や教室担当の変更、会計や活動報告、今年度の活動予定などが承認され、長く会長を務められた新司正人会長が名誉会長に、新会長に深田紀美子先生が就任され、新たな協会の始まりとなりました。
(奈良支部 松澤 和実)

●お詫び● 先月号(5月号)の全日本弓道大会結果で、奈良県勢の競技進出者を2名としていましたが、下記5名の選手でした。お詫びして訂正いたします。
有段者の部 西田 友樹、角田 圭一郎、衛藤 博史
教士の部 白井 礼子、吉本 清巳

編 | 集 | 後 | 記

各予選が行われました。近畿や全国へ駒を進めた皆さん、頑張ってきてください。夏の審査も目前です。各々が自分の射と向き合っておられることでしょう。一生懸命になれる時間を大切に。(編集担当 松澤 和実)